

**学校法人高田学苑
高田短期大学
機関別評価結果**

平成 20 年 3 月 19 日

財団法人短期大学基準協会

高田短期大学の概要

| | |
|-------|-----------------|
| 設置者 | 学校法人 高田学苑 |
| 理事長名 | 田中 和麿 |
| 学長名 | 村澤 忠司 |
| A L O | 鷺尾 敦 |
| 開設年月日 | 昭和41年4月1日 |
| 所在地 | 三重県津市一身田豊野195番地 |

設置学科および入学定員(募集停止を除く)

| 学科 | 専攻 | 入学定員 |
|----------|----|------|
| 子ども学科 | | 150 |
| 人間介護福祉学科 | | 40 |
| ワイルド情報学科 | | 60 |
| | 合計 | 250 |

専攻科および入学定員(募集停止を除く)

なし

通信教育および入学定員(募集停止を除く)

なし

機関別評価結果

高田短期大学は、本協会が定める短期大学評価基準を充たしていることから、平成20年3月19日付で適格と認める。

機関別評価結果の事由

1. 総評

平成18年6月26日付で当該短期大学からの申請を受け、本協会は第三者評価を行ったところであるが、評価の結果、当該短期大学は、自らの掲げる教育理念の実現および教育目標の達成に向けて順調に進捗しており、本協会が定める短期大学評価基準を充たしていると判断した。

上記の判断に至った事由は、おおよそ次の通りである。

当該短期大学は寛保元年（1741）浄土真宗高田派の僧侶の研修道場として始まり、明治5年（1872）一般子弟にも開放され、昭和41年に短期大学が設置認可された宗門系の学苑である。

建学の精神や教育理念は明確に確立されており、その実践においても各種行事やガイダンス、研修、日常生活の中で具体的に身につかせ「言行忠信表裏相応」の校訓もいかし、人間味豊かで広い視野を有し社会へ貢献できる人材の育成をめざしている。「夢と笑いのある学びの場」「3S (Smile Skill Sincerity)」が現代にマッチしたモットーとなっている。

授業改善委員会やファカルティ・ディベロップメント（FD）も活発で相互の授業参観も奨励されている。自己点検評価も全学上げて定期的にしっかり行われ、「相互評価」や「外部評価」も取り入れ「第三者評価」に入っている。

一部学科の定員割れがあるが、中学校・高等学校は県内有数の進学校で法人財政としては安定している。

「全学一致団結」のスローガンの下、教職員と学生が一体となって教育活動、就職活動、地域との連携や奉仕活動、育児文化研究センターや子育て支援活動（特色ある大学教育支援プログラム（特色 GP）に採用）など多くの実績をあげている。

2. 三つの意見

（1）特に優れた試みと評価できる事項

評価領域Ⅰ 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標

- 宗門系の学苑であり、短期大学として建学の精神が確立している。「一致団結」のスローガンの下、各学科とも現代のニーズに対応してカリキュラム、資格などに配慮すべく努力している。

評価領域Ⅳ 教育目標の達成度と教育の効果

- 全学的取組みであるアドバイザー制度で、学生一人ひとりを大切にする学生生活支援が有効に機能し、退学者・休学者は少ない。

評価領域Ⅴ 学生支援

- 優れた学生へのモチベーションをさらに高める試みとして、スキルアワードと称する表彰制度が設けられている。

評価領域Ⅵ 研究

- 研究条件が整備され、研究活動が活発であり、特に科学研究費補助金などの外部研究資金の申請・採択の実績を挙げている。

評価領域Ⅶ 社会的活動

- 併設された仏教文化研究センター・育児文化研究センターが、地域社会に対して各種講座を開催し、企業や自治体との共同企画、共催による講師派遣や講座を開催し、学習の機会を提供している。
- 平成 15 年から学生が自主的に取り組む地域住民と学生の安全を守る地域安全部会「セーフティたかだ」は、地元密着型で学生主体による地域貢献であり、内容的にも充実している。

評価領域Ⅷ 財務

- 法人の概要、財務情報、事業報告書などをウェブサイト上に公開し、解説を付して理解しやすい内容となっている。

評価領域Ⅸ 改革・改善

- 学内規程が完備し、各種委員会、教授会の点検評価と改革・改善に対する活動がみられる。学内点検評価報告書は 3 ヶ年ごとに発行し、相互評価、外部評価も導入している。

(2) 向上・充実のための課題

なし

(3) 早急に改善を要すると判断される事項

なし

3. 領域別評価結果

| | 評価領域 | 評価結果 |
|-------|----------------------|------|
| 評価領域Ⅰ | 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標 | 合 |
| 評価領域Ⅱ | 教育の内容 | 合 |
| 評価領域Ⅲ | 教育の実施体制 | 合 |
| 評価領域Ⅳ | 教育目標の達成度と教育の効果 | 合 |
| 評価領域Ⅴ | 学生支援 | 合 |
| 評価領域Ⅵ | 研究 | 合 |
| 評価領域Ⅶ | 社会的活動 | 合 |
| 評価領域Ⅷ | 管理運営 | 合 |
| 評価領域Ⅸ | 財務 | 合 |
| 評価領域Ⅹ | 改革・改善 | 合 |

評価領域Ⅰ 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標

仏教精神、特に親鸞聖人の教えを基とし、宗教的情操を培い人間性豊かな社会人を育成することを建学の精神に位置づけ、本山参詣、仏教授業、仏教講話、仏教的行事などに裏付けられた教育内容によって具現化されている。3学科とも、毎年の点検や評価でカリキュラムなどもより良い方向に変更され、学内各種委員会や教授会なども十分に機能している。

評価領域Ⅱ 教育の内容

3学科とも、建学の精神・理念に基づく科目が導入され、学科の教育目的、学生ニーズ・免許・資格取得に応じたカリキュラム編成となっており、シラバスの記述も学生主体とするなど工夫されている。学生の授業アンケート・ゼミナール教員の学生の状況把握などを通じて授業内容・教育方法の改善なども行われている。必修・選択科目のバランス、少人数教育の実施、専任教員の主要科目担当、活発な教員の研究活動、文部科学省の助成金を得ての教授能力開発研究などが行われている。

評価領域Ⅲ 教育の実施体制

教員組織が有機的に機能し、教育活動が活発に実施され、成果をあげている。

恵まれた自然環境の中に広大な校地、校舎を有し、充実した教育環境であるが、現状に甘んじることなく、さらなる改善充実に向けての取組みが進められている。

評価領域Ⅳ 教育目標の達成度と教育の効果

建学の精神に基づく教育目標の達成にむけ、全学的に意欲的に教育に取り組んでいる。教育の効果は、子ども学科、オフィス情報学科とも高い専門就職率となっている。

全学的取組みであるアドバイザー制度により学生一人ひとりを大切にする学生生活支援がなされている。

学生による授業評価アンケートが実施され、教員は評価結果を真摯に受け止めさらなる改善に役立て、学生は授業参加意欲を向上させるなど、教員、学生双方に良好な影響を与えている。

評価領域V 学生支援

学生と教職員が絶えずコミュニケーションを取りながら、一人ひとりの将来像から目的を持って修学させる工夫がみられる。

留学生などの多様な学生に対してもその姿勢が貫かれ、編入試験のための支援などが熱心に行われている。社会人に対しては特別入試制度を設けているが、さらに優待制度、学習支援や長期履修制度が整備されることが期待される。

評価領域VI 研究

教員の個々の研究、グループ研究、共同研究も活発であり、科学研究費補助金、私立大学高度化推進特別補助を獲得している。

評価領域VII 社会的活動

併設機関の各種講座の公開や、企業や自治体との共同企画や共催の形で連携による講師派遣や講座開催活動など地域に根ざした取組みをしている。また授業における総合演習によってボランティアの意識づけを行い、国際交流では、留学生の受け入れと派遣、教員の海外派遣を実施し、海外教育機関などとの密接な双方向交流を継続している。附属の「ボランティア活動支援室」が学生の社会貢献の機会を支援し、学生主体のボランティア活動が活発に行われている。

評価領域VIII 管理運営

理事長を中心に法人の管理運営体制が確立しており、理事会、評議員会は、寄附行為に基づいて適切に運営され、それぞれの機能を果たしている。監事は毎回理事会に出席して、業務執行状況を掌握し監査機能を果たしている。短期大学の運営については、教授会のもとに将来計画などを審議する運営会議、各学科教員協議会、各種委員会などが設置されており、それぞれに協議した結果は教授会に提案、報告するというシステムが確立している。学長は教授会および運営会議の議長として審議をすすめ、また新たな課題に対しては、特別・臨時委員会を設置して検討を指示するなどリーダーシップを発揮している。

事務組織は短期大学の規模に応じた組織編制と職員配置がされており、事務関係の諸規則も良く整備されている。事務の OA 化による業務改善、学生への対応の改善などに積極的に取り組んでいる。

教職員の就業に関する諸規程もよく整備されており、教職員の健康管理や就業条件にも配慮して改善に前向きに取り組んでいる。教員と事務職員の協力関係も良好である。

評価領域Ⅸ 財務

一部学科の入学定員が未充足であるが、法人の財政は健全に推移している。

事業計画と予算は、所定の手続きを経て理事会、評議員会、監事などの適切な関与のもと決定されている。公認会計士の監査意見にも対応しており、計算書類などは適正に表示されている。予算の執行、出納業務は所定の決裁手続きとともにおおむね円滑に運営されている。財務情報公開も適切に行われている。

短期大学に必要な施設設備は良く整備されている。また、それらを維持管理するための管理規程や各種台帳も整備され適切な管理がなされている。

キャンパスは山の上であり、周辺一帯は深い森林となっているので、火災や地震などへの災害対策、防犯対策等危機管理対策がとられている。

評価領域Ⅹ 改革・改善

自己点検・評価報告書は 3 ヶ年ごとに発刊、「相互評価」、さらに県内大学、短期大学、高校、企業等外部委員による「外部評価」も実施し、独自の「教育改善委員会」「苦情処理委員会」「大学改善箱」などの設置により改革・改善に向けた努力がなされている。